

平成29年7月12日

報道機関各位

勝山市立荒土小学校
校長 道関 直哉

子どもたちが育てた妙金ナス（伝統野菜）を使った給食を実施します

勝山市立荒土小学校では、ふるさと教育を推進しています。この一環として、6年生が地元生産者の協力を得て伝統野菜である妙金ナスを栽培してきました。収穫期を迎えましたので、このナスを使った給食を下記の通り実施します。ふるさと教育の新たな取組として、ご紹介いただきますようお願いいたします。

記

- 1 日時 平成29年7月18日（火）12:15～13:00（給食）
- 2 場所 勝山市立荒土小学校 ランチルーム
- 3 参加者 荒土小学校 児童 89名 教職員
- 4 献立 妙金ナスを使った麻婆茄子 他
- 5 今後の予定

6年生の総合的な時間の活動として、小グループに分かれ地域活性化にむけた各テーマについての研究成果を、公民館などにおいて10月頃に提案

【グループテーマ】

- ・勝山や荒土町の宝としての妙金ナス普及
- ・梅花藻の育つ河川を保全し観光ポイントとしてPR
- ・荒土地区で生産する木炭の活用方法

【参考】伝統野菜

古くから地域で作られてきた在来種の野菜。地域の風土や生活に密接に結びつき、生産されてきた。県内には奥越さといも、木田ちそ、谷田部ねぎなど23種類の伝統野菜がある。しかし、生産農家の減少で絶滅寸前の種もあり、継承が課題となっている。生産振興や消費拡大を目指し、生産者や自治体などが2011年、「伝統の福井野菜振興協議会」を設立。伝統野菜の料理教室や啓発活動、生産者との交流ツアーなどの活動をしている。(2017-01-19 朝日新聞 朝刊 福井全県・1地方)

担当者：山口・前野（教頭）

電話：0779-89-2002

メール：aradosyo@edu.city.katsuyama.fukui.jp

紹介：<http://arasyo892002.mitelog.jp/>
